

令和3年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

都市環境整備課

1 施設の概要等

施設名	広島県立びんご運動公園		
所在地	尾道市栗原町997		
設置目的	備後地域住民のスポーツと多様なレクリエーション活動の振興		
施設・設備	健康スポーツセンター、陸上競技場、テニスコート、野球場、球技場、コミュニティープール、冒険の森、多目的広場、オートキャンプ場など		
指定管理者	5期目	R3. 4. 1～R8. 3. 31	イズミテクノ・RCC文化センター・シンコースポーツ共同企業体
	4期目	H28. 4. 1～R3. 3. 31	イズミテクノ・RCC文化センター・シンコースポーツ共同企業体
	3期目	H23. 4. 1～H28. 3. 31	ポラーノグループびんご
	2期目	H20. 4. 1～H23. 3. 31	ポラーノグループびんご
	1期目	H17. 4. 1～H20. 3. 31	尾道市

2 施設利用状況

利用状況	年度		目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
		5期	R3	634,174人	400,749人	△244,777人
	4期平均H28～R2		708,150人	645,526人	△26,419人	△62,624人(91.2%)
	3期平均H23～H27		667,914人	671,945人	19,073人	4,031人(100.6%)
	2期平均H20～H22		656,450人	652,872人	22,544人	△3,578人(99.5%)
	1期平均H17～H19		610,560人	630,328人	43,388人	19,768人(103.2%)
	H16(導入前)		—	586,940人	—	—
増減理由	新型コロナウイルス感染症の流行による施設利用中止及び利用者の自粛などによる減					

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	アンケートの実施	公園利用者 493人
	利用者意見箱の設置	公園利用者(個人) 230人 スポーツ団体 15団体
	受付、打合せでの聞き取り	スポーツ団体25団体
	【主な意見】	【その対応状況】
	トイレに和式が多く洋式の数が少ない	令和4年度に健康スポーツセンターの洋式化を実施予定
	テニス、プール、健康スポーツセンターの空調の効きが悪い	令和3年度に空調機器の更新を実施済
イノシシ被害について	多目的広場、冒険の森について、電気柵、檻の設置の効果が出ている。令和4年度は野球場及び球技場の対応予定	

4 県の業務点検等の状況

項目		実績	備考
報告書	年度	○	事業報告書
	月報	○	月次報告書
	日報(必要随時)	○	事故等報告書
管理運営会議(随時)	【特記事項等】 各施設(建物)、設備の老朽化対策が継続課題		
現地調査(随時)	【指定管理者の意見】 施設の定期検査を実施し、着手する優先順位を報告し、故障・修繕箇所の修繕を実施する		
	【県の対応】 維持修繕にあたっては、事前に県と十分協議し、連携しながら実施するよう指定管理者に指導した		

5 県委託料の状況

(単位：千円)

県委託料 (決算額)	年度		金額	対前年度増減	料金 収入 (決算額)	年度		金額	対前年度増減
	5期	R3	189,429	30,677		5期	R3	34,663	△34,623
	4期平均H28～R2		158,752	10,466		4期平均H28～R2		69,286	2,225
	3期平均H23～H27		148,286	△214		3期平均H23～H27		67,061	1,920
	2期平均H20～H22		148,500	△18,751		2期平均H20～H22		65,141	4,993
	1期平均H17～H19		167,251	△6,508		1期平均H17～H19		60,148	△1,605
	H16 (導入前)		173,759	—		H16 (導入前)		61,753	—

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項 目		R3決算額	R2決算額	前年度差	主な増減理由等
収 入	県委託料	189,429	176,389	13,040	コロナによる減収分の補填及び感染対策経費の増額
	料金収入(※1)	34,663	53,886	△19,223	コロナによる施設の利用休止及び利用控えの影響
	その他収入		8,244	△8,244	令和3年度より自販機手数料・レストラン収入は自主事業収入へ計上を変更したため
	計(A)	224,092	238,519	△14,427	
支 出	人件費	82,231	77,921	4,310	人員の増員及び給与規定改訂による増
	光熱水費	47,236	49,538	△2,302	コロナによる施設の利用休止により電気・ガスが抑えられていたため
	設備等保守点検費	17,091	17,717	△626	令和2年度に特殊建築物の点検及びフロンガスの漏洩点検を実施済のため(3年に一度実施)
	清掃・警備費等	69,785	71,156	△1,371	夜間の警備を取り止めたため
	施設維持修繕費	2,962	1,954	1,008	小規模修繕が多く、指定管理者において対応したため
	事務局費	16,500	11,910	4,590	コロナ対策に係る消耗品の購入、イベント広報印刷費の増額
	その他	6,086	13,399	△7,313	体育用品のリース満了に伴い、リースが不要になったため
	計(B)	241,891	243,595	△1,704	
収支①(A-B)		△17,799	△5,076	△12,723	
自主事業 (※2)	収入(C)	19,239	19,226	13	コロナによる施設の利用休止及びイベントの中止
	支出(D)	17,188	18,752	△1,564	
	収支②(C-D)	2,051	474	1,577	
合計収支(①+②)		△15,748	△4,602	△11,146	

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	利用者から需要のあるトップス広島による能力向上講座について、新型コロナウイルス感染症対策を行い、継続して実施した。令和4年度の実施に向け、BMX、スケートボードの新たな講座の企画を立案した。	施設の利用促進やレクリエーションの振興を図るため、新たな講座の企画を立案した。
	○業務の実施による、県民サービスの向上	イベントで、花の種等を配布し、利用者へのサービスの向上を図った。広島市民球場跡地で行われた『はなのわマルシェ』でPR活動を行った。	花の種等を利用者に配布し、利用者へのサービス向上を図った。他のイベントにおいてパンフレット等を配布するなど積極的なPR活動を行った。
	○業務の実施による、施設の利用促進	幼児対象のキックバイクを導入し、ファミリーの利用の促進を図った。施設にデジタルサイネージを設置し、施設やイベントをPRすることで、利用の促進を図った。	機器の導入や新たな取り組みを行うことで、利用の促進に努めた。
	○施設の維持管理	ロッカーの一部更新やジョギングコース補修を行うなど、安全対策や利便性向上のための維持管理を行った。	日々の定期点検を確実に行うことにより、危険性を早期発見し、必要な修繕を行うなど施設維持管理を適切に行った。
管理の人的基礎	○組織体制の見直し	異動はあったが、人員や、スポーツ施設管理運営の資格者を増やした。社内研修を実施することで、スタッフのスキルの向上を図ることができた。	人員変更はあったが、研修等により適切な管理水準を保った。
	○効率的な業務運営	共同企業体3社による、ノウハウを集結し、業務の合理化を図った。	広報、スポーツ、建物管理について、共同企業体の強みを活かして運営した。
	○収支の適正	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、大幅に利用者数が減少したが、経費の軽減を図り、最小限度の収支損に留めた。	新型コロナウイルス感染症による収入減はあったが、サービスレベルを維持しながら適切に経営を行った。
総括		新型コロナウイルス感染症の対策を継続して実施し、安全な施設の運営を行った。BMX、スケートボードの新たな講座の企画を立案し、新年度に向けた体制を整えた。	新型コロナウイルス感染症対策を徹底し適切な管理を行いつつ、新たな講座の企画を立案する等、施設の利用促進やレクリエーションの振興を図った。

8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和4年度)	○陸上競技場の利用を促進するため、利用者へのPRを強化し客数の増を図る。 ○冒険の森で、楽しさ・賑わいを高めるため、キッチンカーを導入する。	○「ひろしま公園活性化プラン」を踏まえ、引続き、指定管理者と連携しながら公園の魅力向上に努める。 ○新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を適切に講じる。
中期的な対応	○現在計画されている、野球場スコアボードの改修、トイレの洋式化等に対応できるよう、施設の維持管理体制を強化する。 ○イノシシの被害は、対策が順次進められているが依然としてあり、今後も広島県や関係者との連携を密にとり対応する。	○長寿命化計画や長期修繕計画に基づき適切に施設の修繕等を実施する。 ○利用者から高い満足度を得て、魅力向上し続ける公園となるよう、指定管理者と緊密な連携を図っていく。